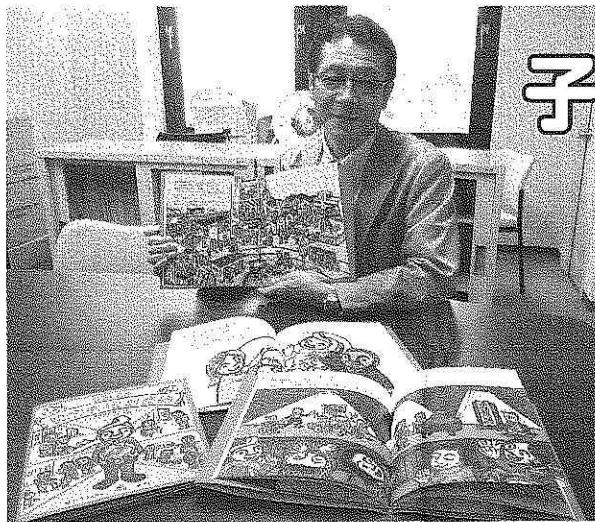


# 子どもの心に届け



「条約を広く知ってほしい」と藤井さん

障害者権利条約を広く知ってもらうため、子どもたちの心に飛び込んでみたい。

そんな思いから日本障害フオーラム幹事会議長の藤井克徳さんが、「えほん障害者権利条約」（汐文社、1500円）を出版した。絵は里圭さんの生き生きとした版画。

内容は、権利条約を「ボク」になぞらえ、誕生の経緯や世界中で受け入れられていく様子、目指す社会のありようを伝えるもの。街なか、劇

場、競技場などでさまざまな年齢や性別、国の人が登場し、白杖を持つ人や車いすに乗った人なども随所に出てくる。

小学校高学年からの子どもが読む想定だが、就学前の子でも、親や保育士らに読んでもらいながら絵を見て楽しめるように描かれている。

藤井さんは、国連で条約策定が模索され始めたころから会議を傍聴、参加してきた。中でも2006年に条約案がまとまった時、世界各国か

## 障害者権利条約が絵本に

ら集まった人たちが拍手し、口笛をふいたり足を踏みならしたりした議場の空気は忘れられないという。

絵本の構成は昨夏から里さんと何度も話し、相互に練り直した。藤井さんは視覚障害があるため複数の人に絵を見て口頭で説明してもらい、イメージを膨らませた。絵を想像して文を直し、それを読んで里さんがさらに絵を直し、仕上げた。藤井さんは「日本も批准した権利条約を、障害のある一人ひとりの暮らしづくりの好転に役立つものになりたい。絵本がその一助になれば」と話している。

汐文社 ☎03・6862・5200

FAX 5202